



スノーピークとティムコ、釣り具御のアイビック（札幌市）などは同市内に新会社「キャンパーズアンドアンクルーズ」を設立したと発表した。札幌近郊に店舗併設のキャンプ場を3〜5カ所程度設け、キャンプ、釣りに、食といった各社の得意分野を持ち寄って川釣り市場を開拓する。

新会社の社長にはスノーピーク会長の山井太氏、副社長にアイビック社長の牧野良彦氏が就任した。資本金は9800万円。出資比率はスノーピークとアイビック、ティムコが約30ずつ、残り8%程度はだし・たれ・スープ製造のアイビック食品（札幌市）が出資する。

札幌市内で記者会見したスノーピークの山井会長は「北海道は川や魚がきれいで、生態系も豊か。アウトドアをする人から見ても魅力的だ。新型コロナウィルス後は外国人観光客も狙えるのではないかと述べた。早ければ2023年冬にもキャンプと釣りが体験で

北海道

釣り×キャンプ 普及へ本気

冬の季節は凍結する河川も多い。店舗併設型のキャンプ場を新設。場所は札幌から1時間圏内を想定している。

コロナ禍でアウトドア人気は高まっている。北海道の釣り人の9割以上がスノーピークの21年12月期から1時間の釣りをしている。売上高は前年同期比52%増の25.4億円を見込んでいる。1人でキャンプする「ソロキャンプ」など、キャンプの多様化している。

アイビックによれば北人気が高まっている。スノーピークの21年12月期から1時間の釣りをしている。売上高は前年同期比52%増の25.4億円を見込んでいる。1人でキャンプする「ソロキャンプ」など、キャンプの多様化している。



（左から）ティムコの酒井誠一社長、スノーピークの山井太会長、アイビックの牧野良彦社長、アイビック食品の牧野克彦社長（11月30日、札幌市）



釣り堀や店舗併設されたキャンプ場のイメージ

スノーピークやアイビックなど

を増やす。初心者向けの釣り堀にくわえ、サウナやレストランも検討。軌道に乗れば北海道から、幅広く出して全国と同様の複合型キャンプ場を増やしたいと考える。

得意分野持ち寄り開拓

アイビックの牧野良彦社長は「釣具店を展開しているだけで釣り人は増えない。いろいろなものと組み合わせ、気軽に釣りに楽しめる場を広げていきたい」と語る。

アイビックの牧野良彦社長は「釣具店を展開しているだけで釣り人は増えない。いろいろなものと組み合わせ、気軽に釣りに楽しめる場を広げていきたい」と語る。

ポケモンと楽しむ空の旅

AIRDO（札幌市）は1日、ポケモンスタジアム特別塗装を施した「ロコンジェット」北海道の運航を開始した。午後0時20分発の新千歳〜羽田便が初便。同日、新千歳空港で開いた就航セレモニーで、AIRDOの草野社長は「短い時間だが、ロコンたちの世界を味わっていただきたい」と話した。

北海道とポケモン（東京・港）は2018年に包括連携協定を結んでおり、きつねポケモンの「ロコン」や「アローラロコン」を使ったPRを展開している。

ロコンジェットも新千歳〜新千歳間を飛ばし、観光需要を喚起する狙いがある。ポケモンの河本拓執行役員は「ロコンの魅力を広げるために、北海道を通じて世界中の人に北海道

AIRDO「ロコンジェット」就航

の魅力を広げたい」と意気込んだ。

ロコンジェットは機内のヘッドレストカバーにロコンとアローラロコンのイラストを配置。機体は左側にアローラロコン、右側にロコンのイラストが描かれており、それぞれAIRDOの企業カラーである水色と黄色を基調としている。

搭乗者にはポストカードやスタッフカーが配られる。客室乗務員はオリジナルアプロンを着用し、ロコンとアローラロコンが描かれた紙コップで飲み物を提供する。就航に合わせて、新千歳、函館の各空港にはフォトスタンドも設けた。

映像を電子版に地域へ北海道

札幌の3店、売上高増

道内百貨店11月、感染者減が寄与

北海道の主要百貨店のナウイリスの感染者数が11月の売上高（速報値）減少傾向にあることで、売上は24%増だった。土産展を札幌丸井三越（札幌市）は「お客さんが伸びた。おせちやクリスマスケーキなどの注文も好調だった。」と話す。

大丸札幌店は前年同月の34%増。全国の大丸松屋は同2%減だった。

札幌 旭函館 011-251-3221
旭川 011-221-3221
函館 011-231-7108

（京などから18人が参加）今後個人の嗜好に合わせた...

（中）招致推進部調整課も充てるため、市の実質）市有施設で改修費がも...

